

記事掲載：2022年12月

翻訳：2023年1月

「Send My Friend to School」英国政府に ECW 支援の拡充を要請



©Education Cannot Wait

ECW [ハイレベル増資会合](#)に先立ち、英国の市民社会ネットワークは、[Send My Friend to School](#) キャンペーンを通じて、緊急時の教育に対する政治的関与と資金調達を求めています。

武力紛争、強制移住、気象災害などの危機によって教育が中断されている世界中の2億2200万人の子どもや思春期の若者にとって、学びは大きく異なり、より複雑なものとなっています。

国際開発 NGO、教職員組合、慈善団体からなる英国の市民社会ネットワークが支持する [Send My Friend to School](#) キャンペーンは、ユース、教員、市民社会、政治家、メディアが結集し、世界中のすべての子どもたちに質の高い教育を提供することを求めるものです。キャンペーンは英国政府に対し、危機の最前線にいる2億2200万人の子どもたちの夢を実現できるように支援すること、つまり今後4年間で1億7000万ポンドを「Education Cannot Wait（教育を後回しにはできない基金、以下 ECW）」に拠出することを明言するよう求めています。

ECW は、緊急事態や長期化する危機における教育のための国連基金です。2023年2月16～17日、ECW とスイスは、コロンビア、ドイツ、ニジェール、ルウェー、南スーダンと共同で [ECW ハイレベル増資会合](#) をジュネーブで開催する予定です。

英国は ECW の創設メンバーであり、創設以来、このグローバル基金の成功の中心を担ってきました。Save My Friend to School は英国に対し、緊急時の教育支援へ資金拠出し、ECW の [2023-2026 年戦略計画](#) を支援するよう求めています。この戦略計画では、ジェンダー平等、女子教育、強制移住、障害のある子ども、質の高い学習成果と教員、気候変動などの主要な優先事項について、野心的な新目標を設定しています。

教育のための超党派議員連盟が主催した Send My Friend to School キャンペーン の発足イベントでは、学生たちが重要な段階における脆弱な子どもたちへの教育支援の必要性について発言しました。

イギリスの中学生、アナカは、「教育が大切な時期にいる私たちのようなユースが、この問題に対する意識を高める役割を果たすことは重要です。このキャンペーンによって生まれる違いは明らかです」と語りました。

すべての子どもが、将来への夢を持っています。すべての子どもに可能性があります。そして、教育を受ける子どもの権利は、緊急事態であったとしても、奪われるものであってはなりません。

キャンペーン用リソースパックを含む、キャンペーンの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。このキャンペーンを [こちら](#) でリツイートして宣伝してください。

【翻訳前の記事（英語）】

[Send My Friend to School Calls on the United Kingdom Government to Expand Support for Education Cannot Wait | Education Cannot Wait](#)